

～ 入居時のリスク等に関するご説明 ～

特別養護老人ホーム 雪舟園

当園での生活においては、利用者の身体状況や疾患に伴う様々な症状により、下記の危険性が伴うことを十分にご理解ください。

【高齢者に伴うリスク】

- 歩行時の転倒、ベッドや車椅子からの転落等による骨折・外傷、および頭蓋内損傷の恐れがあります。
- 当施設は原則として身体拘束を行わない方針であること、また職員が利用者と常に「1対1」で対応できる体制ではないため、立ち上がりや移動時の付き添い対応が困難な場合があります。なお、付き添いを行っている際でも、ふらつき等により転倒される可能性を完全に排除することはできません。
- 認知症状が進行すると、危険に対する認識能力が低下します。歩行困難な状態であっても、不意の立ち上がりなどによって転倒・転落される恐れがあります。
- 高齢者の骨は脆(もろ)く、通常に対応においても容易に骨折する恐れがあります。
- 高齢者の皮膚は薄く、わずかな摩擦でも表皮剥離(皮膚が剥がれること)が起きやすい状態にあります。
- 高齢者の血管はもろくなっているうえ、持病や内服薬の影響により、少しの打撲であっても皮下出血(青あざ等)が生じやすい傾向にあります。
- 加齢や認知症の症状により、水分や食物を飲み込む力(嚥下機能)が低下します。そのため、誤嚥(ごえん)・誤飲・窒息の危険性が高い状態にあります。

【感染症などに関するリスク】

- 高齢者は加齢に伴う免疫機能の低下により、様々な感染症や感染性の皮膚疾患に罹患しやすく、また重症化しやすい特性があります。
- 呼吸器系の機能低下により、一般的な風邪症状からでも肺炎などへ急激に重症化する危険性があります。
- 施設内での感染症発生・拡大を予防するため、状況に応じて面会や外出、行事参加などを一時的に制限(または中止)させていただく場合がございます。あらかじめご理解とご協力をお願いいたします。

【一般的なリスク】

- 高齢であることに加え、脳血管疾患や心疾患などの基礎疾患により、予期せぬ急変や急逝に至る可能性があります。
- 利用者の全身状態が急変した場合、ご家族への連絡を優先いたしますが、生命の危険が差し迫っていると判断される場合は、職員の判断で速やかに救急搬送の手配を行うことがあります。
- 全身状態が極めて重篤な場合、搬送先の病院より積極的な延命治療を行うかどうかの判断を求められることがあります。
(別紙「緊急時の意向確認書」に基づき対応させていただく場合があります。)

当施設といたしましては、上記のリスクを最大限回避できるよう、細心の注意をもって対応させていただきます。万が一、利用者の健康状態に重大な変化が生じた場合は、速やかにご家族および関係機関(保険者等)へ詳細を報告いたします。

また、これらのリスクは自宅での生活においても起こりうるものであり、利用者の心身の状態に伴う自然な経過・変化としてご理解いただけますと幸いです。本説明書の内容についてご不明な点や、さらに詳しい説明をご希望の場合は、遠慮なく職員までお尋ねください。

上記、利用時のリスク等について説明を受け、内容に同意いたしました。

氏名： _____ (続柄： _____)

令和 年 月 日

説明者： _____ (印)